

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐりんカレッジ北			
○保護者評価実施期間	令和7年2月14日		～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	名	(回答者数)	名
○従業者評価実施期間	令和7年2月14日		～	令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	名	(回答者数)	名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに寄り添った共感的な支援が出来ている。 保護者とのコミュニケーションが取れており、お子様のことについて連絡相談ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの今の状態をしっかり観察し、支援内容にフィードバックするようにしています。 児童発達支援管理責任者と連携をとりながら丁寧な支援を心がけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちにとっての最善とは何か話考えながらチームでより良い支援が出来るよう話し合いを進めて実践に繋げていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが、安心感を感じながら、楽しく通所できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々変化していく子供たちをチームで支援することにより、安定した支援ができるように、配置や活動を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子供たちの可能性を広げていける療育ができるよう体験やイベントを含め考えていきたいと思う。
3	<ul style="list-style-type: none"> 野外活動、クッキング、買い物支援、音楽デイ、製作デイ、お掃除デイなど活動に取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動を通して自信や自己肯定感を高めることを目的に各活動に取り組んでいく。 子供の個々の発達課題や年齢に応じたアプローチを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人の発達や行動をアセスメントする力を高めケース検討や研修を実施していく。 子どもたちの観察力を高めミーティングで気づきや話し合いを続けながら、より子供たちの主体性を伸ばせるよう努力する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 事故対応、災害対応等の緊急時の対応マニュアルは整っているが、訓練も行っているが、保護者への情報が伝わりにくい状況となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への情報発信をいろいろな方法を考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別に説明させていただく他にも、日頃から情報発信を親御様に見てもらえるようにする。 ※LINEや手帳等個人情報を守りながら行う方法
2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者回答の開催、保護者交流、兄弟に対しての支援についての評価が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会など、保護者同士の交流を行われる支援は行ってなかった。 兄弟への支援までの取り組みは、行ってこなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者のご意見も取り入れながら、立案していく。 茶話会、座談会等の企画をしていく。
3			